

令和6年4月1日

関係各位

横浜市柔道協会

初～五段の書類推薦による昇段について

現在、柔道に関わっていて試合審査を受けずに初段～五段の昇段を希望する方は、下記を確認して横浜市柔道協会にお問い合わせください。

手続き費用や形講習会受講料等については問い合わせを受けてから説明します。

【年齢・修行年限・形講習の条件】

- 年齢が年末現在、30歳以上
- 修行年限が初段：1年半以上、二段：3年以上、三段：4年以上
四段：5年以上、五段：6年以上
(初段以外は現段位昇段後の修行年限)
- 形講習会に出席しない場合は推薦の対象になりません。

【問合せ方法】

次の何れかで横浜市柔道協会会長へお問い合わせください。

- 毎月の審査会
横浜刑務所斉信館 午後1時～3時
- 会長宅（英接骨院）
〒231-0053 横浜市中区初音町3-46
TEL 045-241-9847
平日の午前9時～午後1時・午後3時～午後7時
(診療中は対応できない事もあります)

関係各位

横浜市柔道協会

六段及び七・八段の昇段推薦について

標記の昇段を希望する方は次の事項を確認してください。
 事前に横浜市柔道協会にて推薦書の審査を受けてから神奈川県柔道連盟に提出することになります。
 推薦書（エクセルファイル）は問合せを受けてから配付します。

【修行年限等の条件】

	六段	七段	八段
総合評定	修行年限	修行年限	修行年限
優	7年以上	9年以上	12年以上
良	9年以上	12年以上	15年以上
可	12年以上	15年以上	18年以上

- 六段は試合成績と修行年限で評定される。
- 七・八段は総合成績及び修行年限で評定される。
- 各段の評定の対象となる大会と必要な試合成績（得点）及び七・八段の総合成績の各項目の評定基準は問合せを受けてから説明する。

【神奈川県柔道連盟への書類提出方法】

- 指定された期日に神奈川県柔道連盟に提出する。
- 3部を提出する。

【六段推薦書の記入要領】

- (ア) 推薦書のエクセルファイルに記入し、データを横浜市柔道協会事務局に提出する。
- (イ) 「講道館館員番号」「全日本柔道連盟メンバーID」「現段位昇段年月日」「現段位の推薦団体名（都道府県柔道連盟）」「入門年月日」を正確に記入する。
 ※「全日本柔道連盟メンバーID」は各自の全柔連会員登録証で確認する。
 ※「全日本柔道連盟メンバーID」以外で必要事項が不明の場合は講道館審議部（TEL03-3811-7153）に照会する
- (ウ) 「推薦団体名」「推薦理由」「形」欄は記入しない。
- (エ) 「試合成績」は年月日（年は西暦の下二桁を記入）、大会名、相手の段位・氏名、勝敗を正確に記入する。
 （勝敗は 勝ち○ 引き分け× 負け△ で記入）
- (オ) 「柔道修行経歴」は柔道を始めたときから時系列に年月・修行場所、指導者名（現段位）を記入する。
 例) ○○年○月○○中学校入学、○○□段に師事
 ○○年○月○○柔道クラブ入会、○○□段に師事
 （年は西暦の下二桁を記入）
- (カ) 「現在の修行状況」は現在の修行場所、修行状況（活動頻度）を記入する。
 例) ○○道場に於いて○○□段に師事し、週○日修行中
 ○○柔道教室に於いて週○日、○○□段の下、小中学生の指導に当たりながら修行中
- (キ) 「柔道の普及発展に尽くした功績」は柔道関係の役職履歴や指導実績があれば時系列に役職名や活動状況等を記入する。
- (ク) 「その他特記事項」は柔道活動による受賞、公認審判員資格、公認指導者資格等があれば、内容と取得年月日を記入する。

【七・八段推薦書の記入要領】

- (ア) 推薦書のエクセルファイルに記入し、データを横浜市柔道協会事務局に提出する。
- (イ) 「講道館館員番号」「全日本柔道連盟メンバーID」「現段位昇段年月日」「現段位取扱団体名（都道府県柔道連盟）」「入門年月日」を正確に記入する。
 ※「全日本柔道連盟メンバーID」は各自の全柔連会員登録証で確認する。
 ※「全日本柔道連盟メンバーID」以外で必要事項が不明の場合は講道館審議部（TEL03-3811-7153）に照会する

- (ウ) 「推薦理由」は記入しない。
- (エ) 「試合成績」は年月日（年は西暦の下二桁を記入）、大会名、相手の段位・氏名、勝敗を正確に記入する。
（勝敗は 勝ち○ 引き分け× 負け△ で記入）
- (オ) 「形」は形競技大会出場実績や評定される形の講道館夏期講習会での証を取得している場合は記入する。
- (カ) 「審判」はライセンスを取得している場合は該当に○をつけ取得年を記入し、審判を務めたおもな大会を記入する。
- (キ) 「指導実績」は大会に出場した選手や団体の育成実績又は道場クラブ等での指導実績を記入する。
- (ク) 「現在の修行状況及び柔道の普及発展に尽くした功績」は現在の修行状況を記入する。
例) ○○道場に於いて、週○日、小中学生の指導に当たりながら修行中
○○○・○○○に於いて、週○日、形及び乱取りの修行中
柔道関係の役職履歴や柔道の普及発展にどのように寄与したかを記入する。
- (ケ) 「その他の特記事項」は前各項に含まれない事項、例えば柔道活動による受賞、公認審判員資格、公認指導者資格等があれば、内容と取得年月日を記入する。

【その他】

○手続費用等については問合せを受けてから説明する。

○本年度の書類提出までの日程

- (1) 各段とも4月15日（月）までに横浜市柔道協会事務局に昇段希望を申し出て、修行年限・試合成績や総合成績の各項目が推薦に該当するかを確認し、推薦書のエクセルファイルを受け取る。
- (2) 推薦書のエクセルファイルに記入し、データを4月中に横浜市柔道協会事務局に提出する。
- (3) 次の期日に県審査会で神奈川県柔道連盟へ推薦書を提出する。
 - 六段 6月 9日（日）（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
 - 七段 7月 21日（日）（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
 - 八段 6月 9日（土）（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
 ※事前（前月の県審査会）に県柔連審議部に推薦書の校閲を請け、必要があれば手直しをしてから提出する。

○本年度の形審査の日程

県柔連で予備審査を受けた後に、六・七段は関東柔道連合会、八段は講道館の形試験を受ける。

六段（講道館護身術）

- 7月 21日（日） 県柔連審査（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
- 9月 14日（土） 関東柔道連合会審査（埼玉県）

七段（五の形）

- 8月 12日（日） 県柔連審査（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
- 10月 19日（土） 関東柔道連合会審査（埼玉県）

八段（古式の形）

- 8月 12日（日） 県柔連審査（シンコースポーツ神奈川県立武道館）
- 10月 12日（土） 講道館試験（講道館）

【問合せ先】

横浜市柔道協会

事務局 鈴木常夫

TEL 090-4013-1253

yokohama-judo@ymail.ne.jp